

平成27年度事業計画及び 歳入歳出予算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成27年度事業計画における主な取り組み

項目	これまでの評価	課題	取り組みの方向
災害対応	災害時の地域住民受入のための設備整備等	防災・減災計画、事業継続計画等の策定・見直し	災害対応能力の強化
施設経営	社会保障給付費削減に伴う厳しい経営環境	長期資金計画、経営改善方策等の策定	効率的な施設運営による経営基盤の強化
職員の能力向上	多様化する利用者への対応が必要不可欠	研修体制の充実	職員のサービスの質の向上
施設運営の活性化	地域ニーズへのさらなる対応が必要	各施設の特色を活かした地域福祉活動の推進	地域社会での多様な社会貢献活動の推進

2. 社会福祉における諸課題

災害弱者

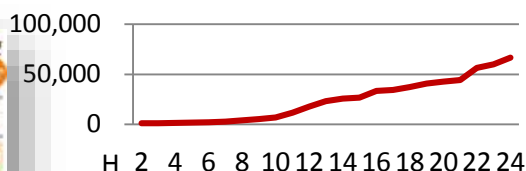
東日本大震災の死者
・・・約55%が高齢者



児童虐待



児童相談所の虐待相談件数



【H24年度推計】

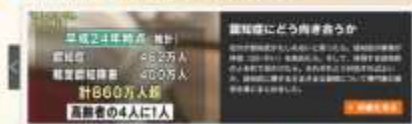
認知症: 462万人

軽度認知障害: 400万人

高齢者: 3,079万人

認知症

認知症 行方不明 1万人



障害者の社会参画

「障害者総合支援法」・・・共生社会の実現



全施設

災害対応能力強化



児童福祉施設

子育て支援事業
里親支援事業



老人福祉施設

地域包括ケア推進に
向けた取組



障害者福祉施設

生活支援の充実、障害理解の普及

諸課題に対し、施設ごとの事業展開が必要
安定した施設経営、サービスの質の向上等も不可欠に

3. 平成27年度の事業計画

(1) 災害対応能力の強化

- ・防災減災計画、事業継続計画（BCP）の策定
- ・地域住民受入のための設備・備品、体制の整備
- ・災害発生時における介護チーム派遣のシステム構築

適宜見直しを図り、充実化を推進

～平成26年度

- ・BCP策定検討に係る研修会開催
- ・災害時の地域住民受入実施
- ・災害時の介護職員派遣 等

平成27年度

- ・BCP策定ガイドライン整備
- ・介護チーム派遣ガイドライン整備



様々な状況を想定した定期的な
避難訓練（日赤鶯鳴荘）

(2) 経営基盤の強化

社会保障給付費の推移



本社主催会議で長期的な資金計画をシュミレーション(本社)

社会保障給付費削減

介護報酬
引き下げ

障害福祉
サービス報酬
ゼロ改定

効率的な施設運営が必要

平成27年度

- ・職員の経営意識の醸成
- ・研修による事務職員の能力向上
- ・長期資金計画の策定、見直し
- ・経営改善方策の策定、実行
- ・支部・行政との連携、調整
- ・物品共同購入の検討

(3) サービスの質の向上

高度な支援を
要する高齢者

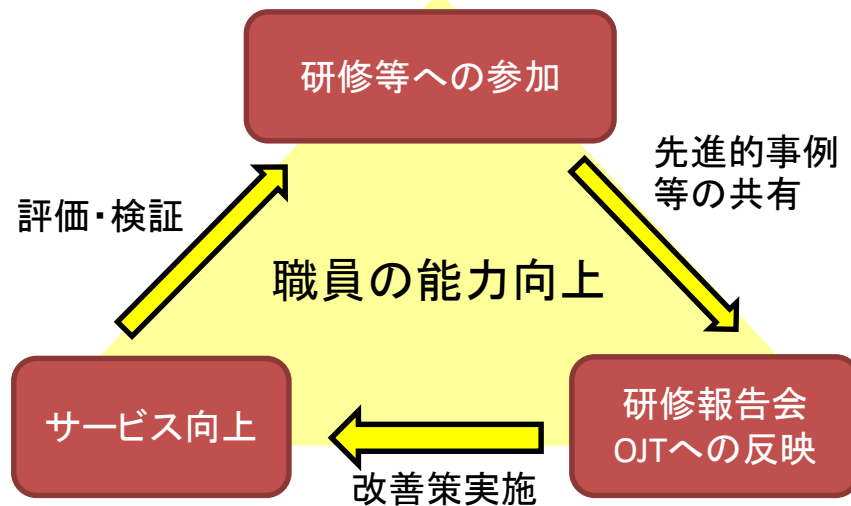
被虐待児童
子育てに悩む親

在宅支援を要する
障害児者

多様化する課題に対応し、利用者へのサービス向上を図るため、職員研修の機会を増加する



施設内研修会で知識を共有化
(日赤鶯鳴荘)



本社予算を充当し、平成27～28年度の2力年で、研修体制充実化を図る

(4) 地域社会での多様な社会貢献活動の推進 自治体等と連携し、施設の特色を活かした取組みを実施

高齢者支援



行政と連携した認知症サポーター
養成講座（日赤安謝福祉複合施設）



地域住民対象の介護に関する
シンポジウム（日赤鶯鳴荘）

子育て支援



親子で参加する育児サークル
（松江赤十字乳児院）



保育士等による育児・子育て
相談も（秋田赤十字乳児院）

地域の
ニーズに対応



本社主催会議で更なる地域
貢献活動を議論（本社）

(5) ボランティアの参画による施設運営の活性化

活動情報の発信



- ・ホームページやSNS等を活用

新規ボランティア参画



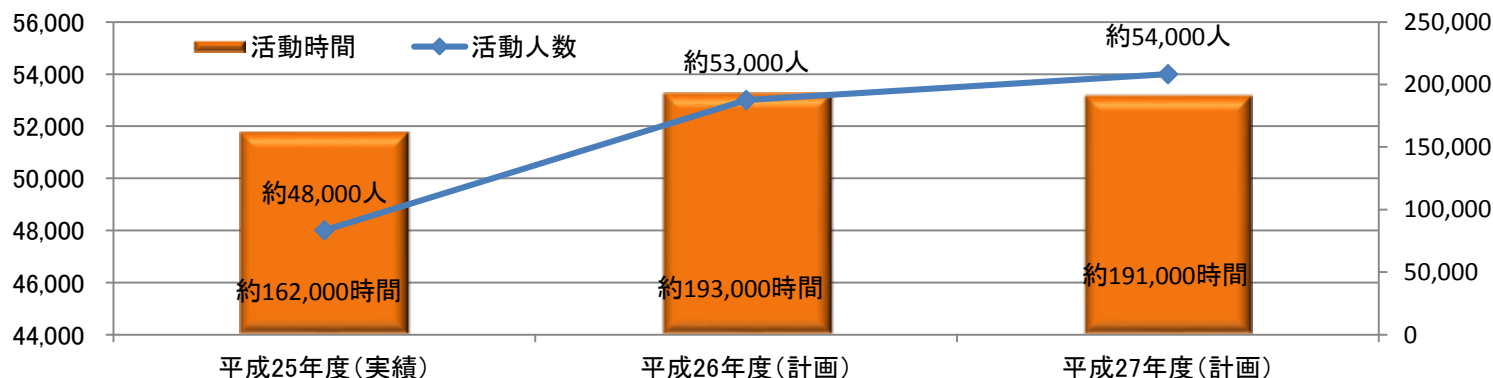
- ・企業の社会貢献活動も積極的に受入

施設運営の活性化



- ・施設での新規奉仕団結成も地域活動の推進へ

ボランティア活動状況(計画)の推移



○企業との新たな関係性の構築

ANAとのコラボレーション(タイアップ)

- ・「ANAのお茶会」開催(総合福祉センター)
- ・ANA訓練センター招待(子供の家)
- ・物品寄贈(10施設)

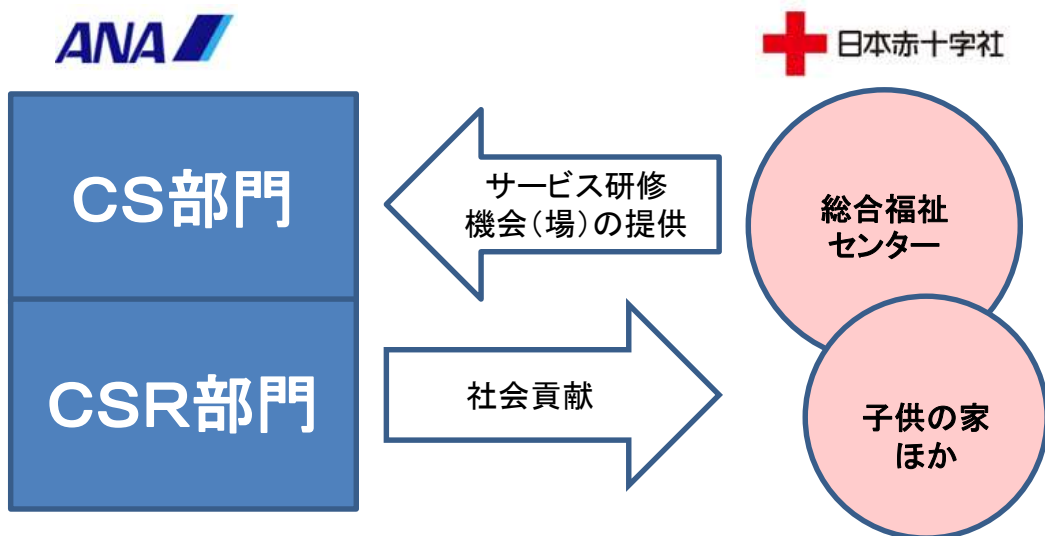


お茶会イベントをきっかけに...

発展

飛行場遠足のご招待！

物品寄贈も！



Win Winの関係

facebook
Facebookに投稿
メールまたは携帯番号
ログインしたままにする

タイムラインの写真
アルバムに戻る・日本赤十字社さんの写真・日本赤十字社さんのページ
前へ 次へ




日本赤十字社
【バーチャルフライトを体験！～ANAから子どもたちへのプレゼント★】
赤十字子供の国（東京都立川市）は、さまざまな夢のために夢を生活することができない6歳までの子どもたちが暮らしている、児童養護施設です。
このたび、全日本空輸株式会社（ANA）さまが社会貢献活動の一環として、子どもたち16人をバーチャルフライト体験などに招待くださいました！
子どもたちからは「とっても楽しかった！」、「飛行機のことをたくさん知れたよ！」などの感想が、ANAのみなさんも「元気をいっぱい分けてもらいました。また一緒に空を飛ばそう！」と話してくださいました。
詳しくはこちらをご覧ください。
<http://www.jrc.or.jp/press/2015/01/23/00009.html>

アルバム: タイムラインの写真
共有範囲: 公開
写真ビューアで見る
ダウンロード
拡大2x4x4倍

Fumiko Hondaさん、堀尾 良一さん、高儀 真弓さん、他3,318人が「いいね！」と言っています。
シェア74件


榎田 毅 p(^_^)qファイト!!
全日空
1月22日 1:14


上原 きよみ 素数な試みですね。こうゆう特別扱いいいですね。もっとたくさん頑張ってください。応援します。
1月22日 2:47


塚越 肇 今晩は素晴らしい試みですね。シェアします。
1月22日 3:25


浅海 真一 素晴らしいです。もっともっとこう言った素晴らしい事をして下さい。
1月22日 3:54


前田 浩志 子供に夢を持たせること、素晴らしい企業努力です！
1月22日 3:58


藤方 英夫 やるじゃん、ANA！
1月22日 6:25


近藤 正宏 子供に勇気と希望を与える試みは賛成です。継続、拡張して行って下さい。
1月22日 6:31


尾崎 展一 なかなかいいことやってますね。さすがANA今後もこのようなことを全国各地でやってほしいですね!!
1月22日 6:50


蔭山 将典 今後もこういったボランティアよろしく願いたします。田舎の子供たちにもアジアわせてあげてください。
1月22日 8:32


茶園 由美子 ここから、未来のANAマン達が誕生してほしいな！
1月22日 17:18


茶園 由美子 ギazzaアじゃない、リアル体験だから良いんだわ。地方の過疎地の人達にも体験させてほしい!!
1月22日 17:21


楠田 勝利 ボランティア活動に、率先して参加する企業は賞賛に値します。ANAも偉な事ですね！カッコいいです
1月23日 3:14


Keiko Usami 胸がいっぱいに・・・
1月23日 3:47


澤田 早苗 このような子供たちにはバーチャルでもいい。出来るだけ多くの社会体験を出来るように、事業の協力の下、国が取り組むべきでしょう。
1月23日 4:30


酒井 英勝 いいですね。
1月23日 17:08


Hisashi Ametani シェアさせていただきます!! ^o^
1月23日 21:51

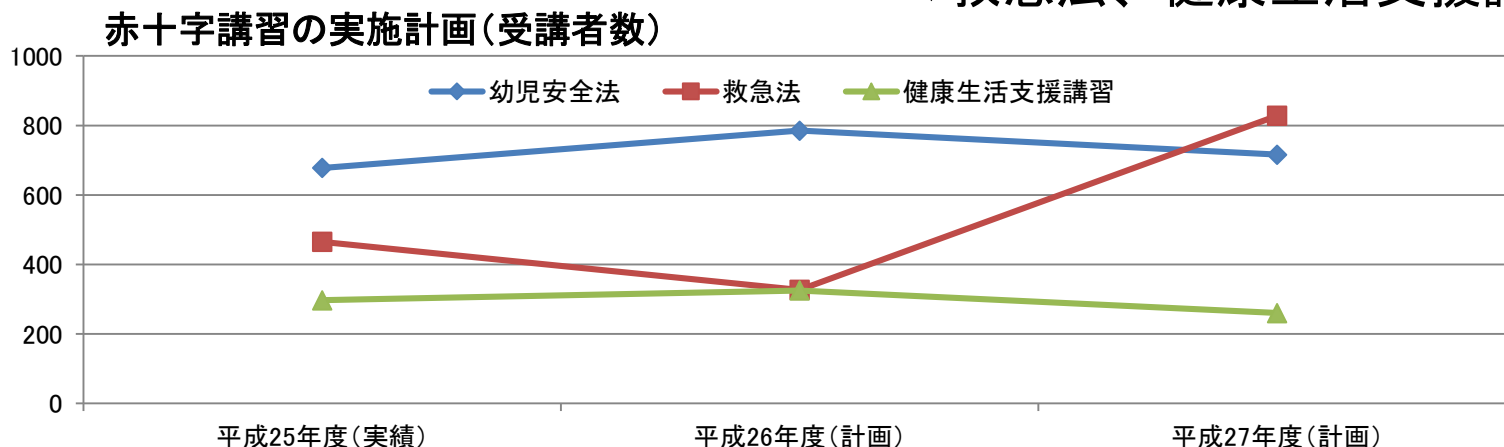
(6) 支部・赤十字病院等との連携 施設の特性を活かした講習事業を推進



児童福祉施設⇒幼児安全法



老人福祉施設
⇒救急法、健康生活支援講習



【参考】

地域包括ケアシステム

リソース(想定)

支部	健康生活支援講習講師・指導員
赤十字病院	訪問看護ステーション、医師 看護師、コメディカル 健康生活支援講習講師・指導員
特別養護老人ホーム	介護士、設備、資材
地域赤十字奉仕団	奉仕団員、地域のネットワーク
青少年赤十字加盟校	JRCメンバー、学校

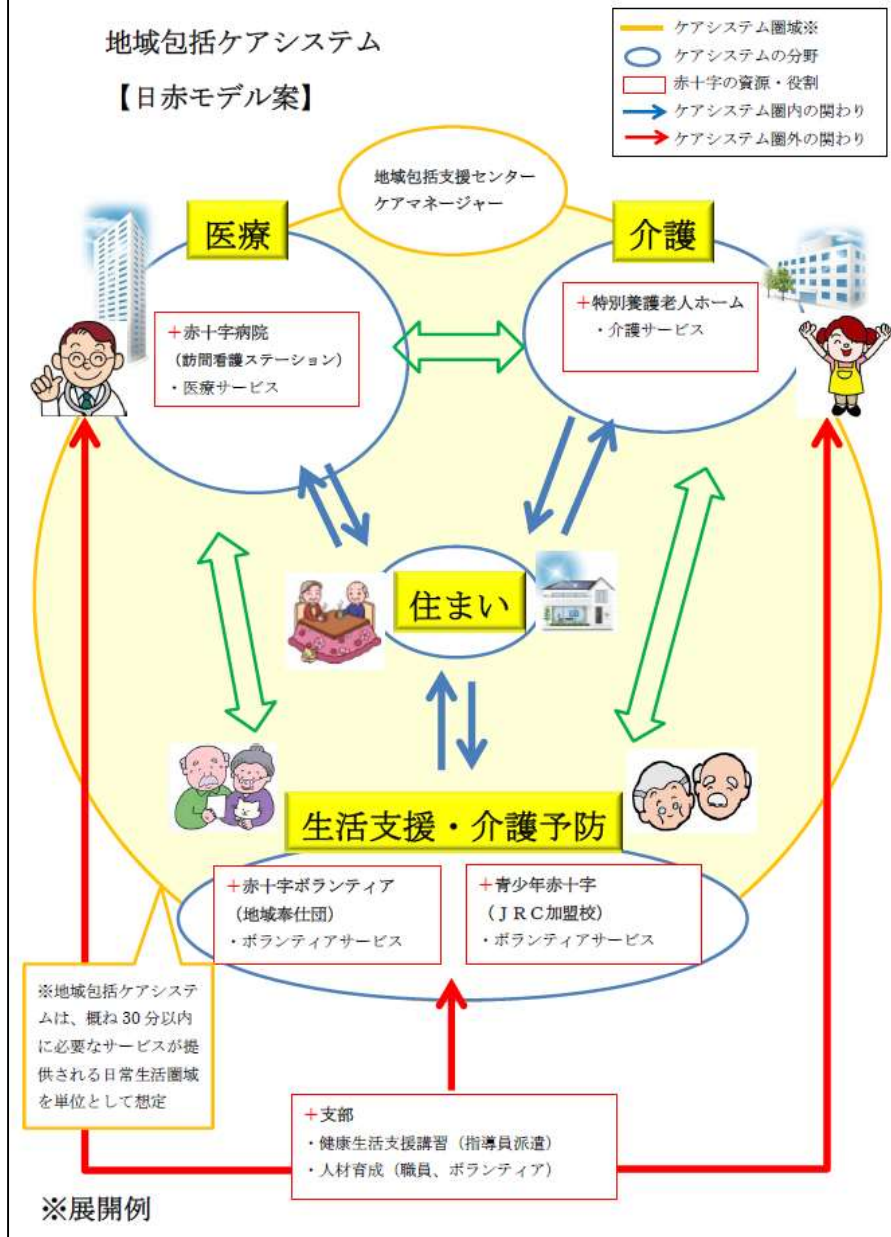
○検討開始(本年度～)

予定: 現地訪問(調査・協議)

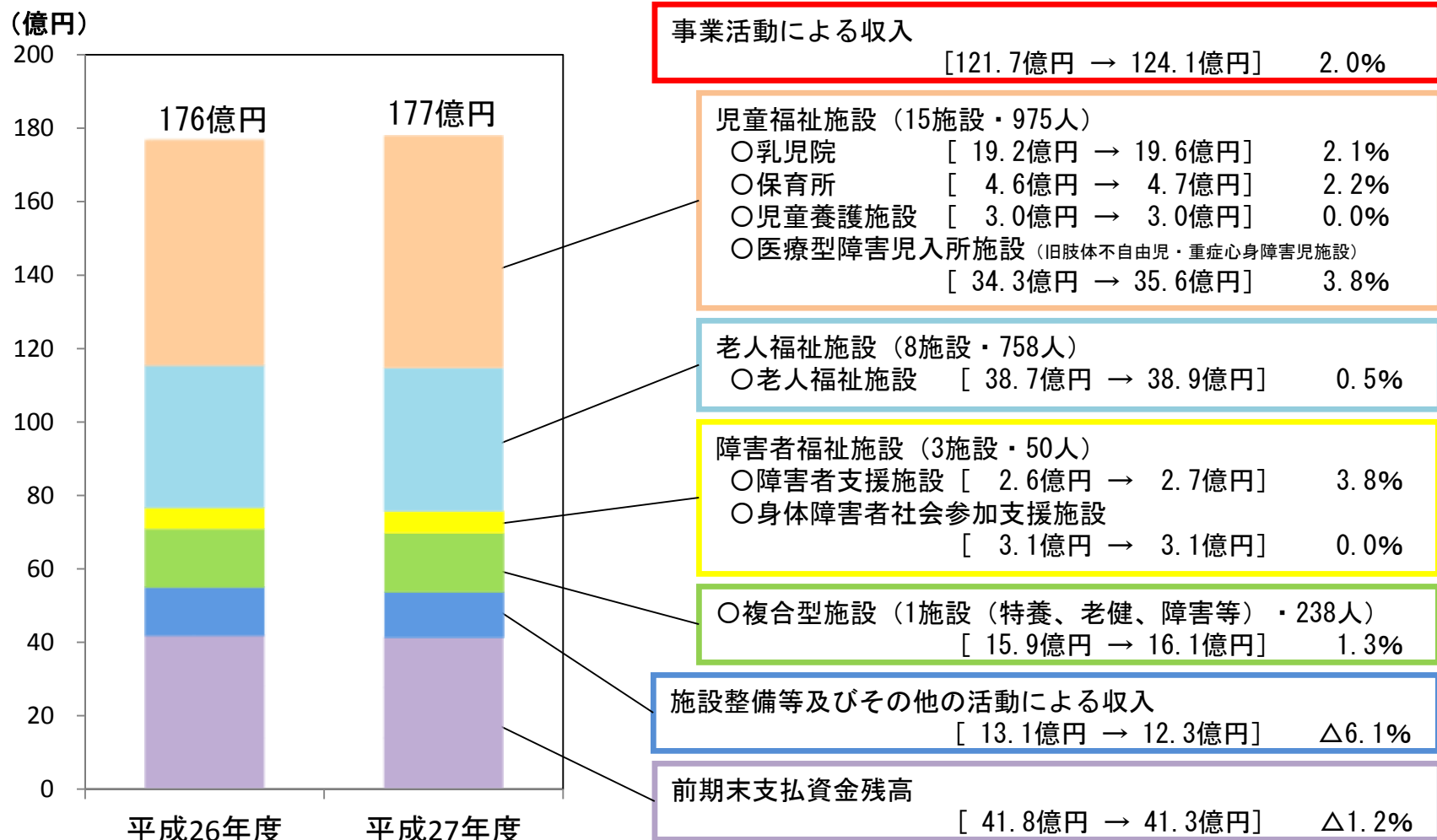
具体化に向けた検討

地域包括ケアシステム

【日赤モデル案】



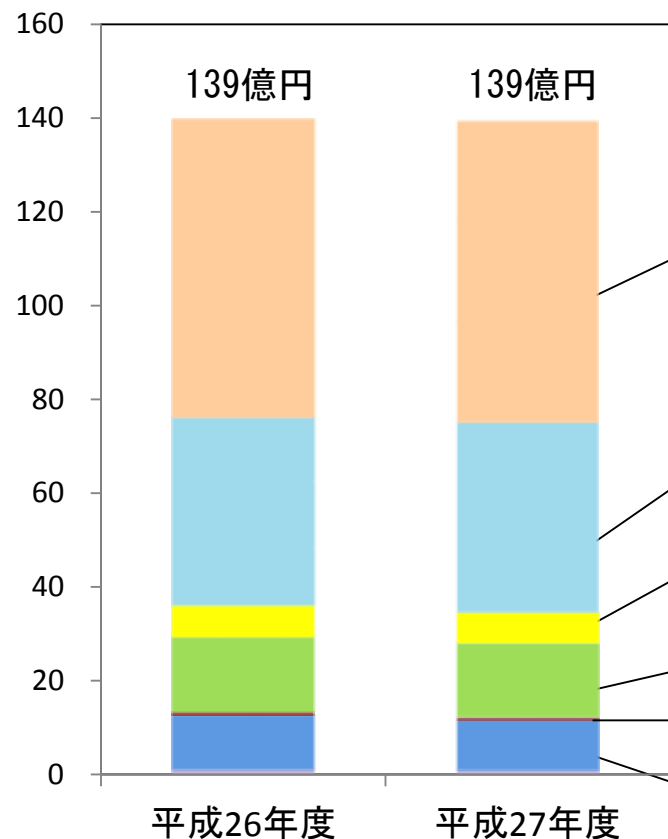
4. 社会福祉施設特別会計歳入予算のあらまし



	平成26年度	平成27年度	増減率
収入合計	176.7億円	→ 177.8億円	0.6%

5. 社会福祉施設特別会計歳出予算のあらまし

(億円)



事業活動による支出

[127.1億円 → 127.5億円] 0.3%

児童福祉施設 (15施設・975人)

○乳児院 [21.3億円 → 21.5億円] 0.9%

○保育所 [4.5億円 → 4.7億円] 4.4%

○児童養護施設 [3.3億円 → 3.3億円] 0.0%

○医療型障害児入所施設 (旧肢体不自由児・重症心身障害児施設)

[34.3億円 → 34.5億円] 0.6%

老人福祉施設 (8施設・758人)

○老人福祉施設 [40.0億円 → 40.5億円] 1.3%

障害者福祉施設 (3施設・50人)

○障害者支援施設 [2.7億円 → 2.7億円] 0.0%

○身体障害者社会参加支援施設

[4.0億円 → 3.7億円] △7.5%

○複合型施設 (1施設 (特養、老健、障害等)・238人)

[16.0億円 → 15.8億円] △1.3%

○本部会計

[0.7億円 → 0.4億円] △42.9%

施設整備等及びその他の活動による支出

[11.3億円 → 10.7億円] △5.3%

	平成26年度	平成27年度	増減率
支出合計	139.5億円	→ 139.2億円	△0.2%
収入支出差引額	37.1億円	→ 38.5億円	—

※平成27年度単年度の収支差額は△約2.7億円 (実質的収支差額は±0億円)